令和2年度　学校評価集計表

坂井市立兵庫小学校

項目	重点目標	評価の観点・目標指数	判断基準	判定基準	回答者	整理番号		人数	割合	A＋B	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1保	2保	3保	4保	5保	6保	教職員
A　確かな学力の育成	①わかる・できる授業の推進	わかる・できる授業の推進に努める。（取組指標）【目標指数】A＋Bの合計が90%以上	授業のユニバーサルデザイン化に	回答者のAまたはBと判断した割合が90%未満の場合には、実施方法および内容等を再検討する。	教職員1	1	計	9		100%													9
			A　十分に取り組めた。				A	0	0%														0
			B　おおむね取り組めた。				B	9	100%														9
			C　あまり取り組めなかった。				C	0	0%														0
			D　ほとんど取り組めなかった。				D	0	0%														0
		自己肯定感が高まっている。（満足度指標）【目標指数】A＋Bの合計が90%以上	授業が	回答者のAまたはBと判断した割合が90%未満の場合には、実施方法および内容等を再検討する。	児童1	2	計	121		96%	11	16	22	17	29	26							
			A　よくわかる。				A	79	65%		7	14	15	13	17	13							
			B　だいたいわかる。				B	37	31%		3	2	5	4	12	11							
			C　あまりわからない。				C	5	4%		1	0	2	0	0	2							
			D　ほとんどわからない。				D	0	0%		0	0	0	0	0	0							
		漢字・計算の日を活用し、基礎的な知識・技能の定着に努める。（取組指標）○【目標指数】A＋Bの合計が90%以上	基礎・基本の定着を図るための計画的な指導が	回答者のAまたはBと判断した割合が90%未満の場合には、実施方法および内容等を再検討する。	教職員2	3	計	9		100%													9
			A　十分にできた。				A	3	33%														3
			B　おおむねできた。				B	6	67%														6
			C　あまりできなかった。				C	0	0%														0
			D　ほとんどできなかった。				D	0	0%														0
		漢字・計算の練習に取り組んでいる。（成果指標）【目標指数】A＋Bの合計が80%以上	毎月の漢字テストと計算テストが	回答者のAまたはBと判断した割合が80%未満の場合には、実施方法および内容等を再検討する。	児童2	4	計	119		89%	11	16	22	17	28	25							
			A　いつも90点以上だった。				A	61	51%		9	16	11	5	5	15							
			B　だいたい90点以上だった。				B	45	38%		2	0	8	9	19	7							
			C　1・2回、90点以上だった。				C	10	8%		0	0	2	2	3	3							
			D　90点以上ではなかった。				D	3	3%		0	0	1	1	1	0							
		基礎的な知識・技能の定着に取り組んでいる。（満足度指標）【目標指数】A＋Bの合計が80%以上	学校は、基礎・基本（漢字・計算）の定着に	回答者のAまたはBと判断した割合が80%未満の場合には、実施方法および内容等を再検討する。	保護者1	5	計	122		98%							11	17	22	17	29	26	
			A　よく取り組んでいると感じる。				A	72	59%								7	14	14	10	15	12	
			B　おおむね取り組んでいると感じる。				B	48	39%								4	3	8	7	13	13	
			C　あまり取り組んでいないと感じる。				C	2	2%								0	0	0	0	1	1	
			D　ほとんど取り組んでいないと感じる。				D	0	0%								0	0	0	0	0	0	
	②読む力・考える力の育成	読む力・考える力の育成に努める。（取組指標）○【目標指数】A＋Bの合計が90%以上	新聞等の多様な教材の活用や意見交換・議論を行うなど指導の工夫が	回答者のAまたはBと判断した割合が90%未満の場合には、実施方法および内容等を再検討する。	教職員3	6	計	9		89%													9
			A　十分にできた。				A	0	0%														0
			B　おおむねできた。				B	8	89%														8
			C　あまりできなかった。				C	1	11%														1
			D　ほとんどできなかった。				D	0	0%														0
		進んで意見交換や議論などをしている。（成果指標）【目標指数】A＋Bの合計が80%以上	他の人の意見をしっかり聞いて自分の考えをまとめることが	回答者のAまたはBと判断した割合が80%未満の場合には、実施方法および内容等を再検討する。	児童3	7	計	121		90%	11	16	22	17	29	26							
			A　よくできた。				A	46	38%		10	14	10	2	8	2							
			B　だいたいできた。				B	63	52%		1	2	10	14	19	17							
			C　あまりできなかった。				C	10	8%		0	0	1	0	2	7							
			D　ほとんどできなかった。				D	2	2%		0	0	1	1	0	0							
	③話す力・表現する力の育成	話す力・表現する力の育成に努める。（取組指標）○【目標指数】A＋Bの合計が90%以上	学級でのスピーチや全校での発表など表現する場と方法の工夫が	回答者のAまたはBと判断した割合が90%未満の場合には、実施方法および内容等を再検討する。	教職員4	8	計	8		100%													8
			A　十分にできた。				A	2	25%														2
			B　おおむねできた。				B	6	75%														6
			C　あまりできなかった。				C	0	0%														0
			D　ほとんどできなかった。				D	0	0%														0
		進んで表現する活動に取り組んでいる。（成果指標）【目標指数】A＋Bの合計が80%以上	自分の思いや考えなどを他の人に伝えることが	回答者のAまたはBと判断した割合が80%未満の場合には、実施方法および内容等を再検討する。	児童4	9	計	121		85%	11	16	22	17	29	26							
			A　よくできた。				A	57	47%		9	12	15	8	8	5							
			B　だいたいできた。				B	46	38%		2	4	6	8	15	11							
			C　あまりできなかった。				C	16	13%		0	0	0	1	6	9							
			D　ほとんどできなかった。				D	2	2%		0	0	1	0	0	1							

令和2年度　学校評価集計表

坂井市立兵庫小学校

項目	重点目標	評価の観点・目標指数	判断基準	判定基準	回答者	整理番号		人数	割合	A＋B	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1保	2保	3保	4保	5保	6保	教職員
B　豊かな心の育成	①魅力ある学校づくりの推進	受容的な学校・学級づくりの推進に努める。 （取組指標）　○	安心できる集団づくり、楽しい授業づくりに	回答者のAまたはBと判断した割合が90%未満の場合には、実施方法および内容等を再検討する。	教職員5	10	計	9		100%													9
			A　十分に取り組めた。				A	4	44%														4
			B　まあまあ取り組めた。				B	5	56%														5
		【目標指数】 A＋Bの合計が90%以上	C　あまり取めなかった。				C	0	0%														0
			D　ほとんど取り組めなかった。				D	0	0%														0
		自己有用感が高まっている。 （満足度指標）	学校・学級が	回答者のAまたはBと判断した割合が90%未満の場合には、実施方法および内容等を再検討する。	児童5	11	計	121		95%	11	16	22	17	29	26							
			A　とても楽しい。				A	88	73%		10	16	13	14	20	15							
			B　まあまあ楽しい。				B	27	22%		1	0	7	3	9	7							
		【目標指数】 A＋Bの合計が90%以上	C　あまり楽しくない。				C	5	4%		0	0	2	0	0	3							
			D　ぜんぜん楽しくない。				D	1	1%		0	0	0	0	0	1							
		いじめ・不登校の未然防止に努める。 （取組指標）	児童の個別指導と情報交換の充実に	回答者のAまたはBと判断した割合が90%未満の場合には、実施方法および内容等を再検討する。	教職員6	12	計	9		100%													9
			A　十分に取り組めた。				A	3	33%														3
			B　おおむね取り組めた。				B	6	67%														6
		【目標指数】 A＋Bの合計が90%以上	C　あまり取り組めなかった。				C	0	0%														0
			D　ほとんど指導に取り組めなかった。				D	0	0%														0
		いじめ・不登校の未然防止に取り組んでいる。 （満足度指標）	学校は、子どもの悩みや困っていることに	回答者のAまたはBと判断した割合が90%未満の場合には、実施方法および内容等を再検討する。	保護者2	13	計	122		96%							11	17	22	17	29	26	
			A　よく対応していると感じる。				A	39	32%								6	8	6	5	7	7	
			B　おおむね対応していると感じる。				B	78	64%								5	9	16	11	19	18	
		【目標指数】 A＋Bの合計が90%以上	C　あまり対応していないと感じる。				C	5	4%								0	0	0	1	3	1	
			D　ほとんど対応していないと感じる。				D	0	0%								0	0	0	0	0	0	
	②体験活動の充実	地域人材や施設等の積極的な活用に努める。 （取組指標）　○	地域の人材を生かした農業体験学習に	回答者のAまたはBと判断した割合が90%未満の場合には、実施方法および内容等を再検討する。	教職員7	14	計	9		100%													9
			A　十分に取り組めた。				A	4	44%														4
			B　おおむね取り組めた。				B	5	56%														5
		【目標指数】 A＋Bの合計が90%以上	C　あまり取り組めなかった。				C	0	0%														0
			D　ほとんど取り組めなかった。				D	0	0%														0
		農業体験学習に積極的に取り組んでいる。 （満足度指標）	作物や植物を育てる学習が	回答者のAまたはBと判断した割合が90%未満の場合には、実施方法および内容等を再検討する。	児童6	15	計	121		96%	11	16	22	17	29	26							
			A　とても楽しかった。				A	91	75%		11	15	15	17	17	16							
			B　まあまあ楽しかった。				B	25	21%		0	1	5	0	12	7							
		【目標指数】 A＋Bの合計が90%以上	C　あまり楽しくなかった。				C	3	2%		0	0	2	0	0	1							
			D　ぜんぜん楽しくなかった。				D	2	2%		0	0	0	0	0	2							
		異学年との交流学習の実践に努める。 （取組指標）	縦割り班での交流や他学年との交流に	回答者のAまたはBと判断した割合が90%未満の場合には、実施方法および内容等を再検討する。	教職員8	16	計	9		89%													9
			A　意図的・計画的に取り組めた。				A	3	33%														3
			B　おおむね取り組めた。				B	5	56%														5
		【目標指数】 A＋Bの合計が90%以上	C　あまり取めなかった。				C	1	11%														1
			D　ほとんど取り組めなかった。				D	0	0%														0
		交流学習に進んで取り組んでいる。 （満足度指標）	ほかの学年の人との交流が	回答者のAまたはBと判断した割合が90%未満の場合には、実施方法および内容等を再検討する。	児童7	17	計	121		97%	11	16	22	17	29	26							
			A　とても楽しかった。				A	76	63%		11	15	12	13	16	9							
			B　まあまあ楽しかった。				B	41	34%		0	1	8	4	13	15							
		【目標指数】 A＋Bの合計が90%以上	C　あまり楽しくなかった。				C	4	3%		0	0	2	0	0	2							
			D　楽しくなかった。				D	0	0%		0	0	0	0	0	0							
	③道徳・人権・特別支援教育の推進	道徳の授業の充実に努める。 （取組指標）	考え、議論する道徳の授業の実践や家庭と連携した道徳教育に	回答者のAまたはBと判断した割合が90%未満の場合には、実施方法および内容等を再検討する。	教職員9	18	計	8		88%													8
			A　十分に取り組めた。				A	0	0%														0
			B　おおむね取り組めた。				B	7	88%														7
		【目標指数】 A＋Bの合計が90%以上	C　あまり取り組めなかった。				C	1	13%														1
			D　ほとんど取り組めなかった。				D	0	0%														0
		我が子の道徳性が身についていると感じる。 （満足度指標）	お子様は、道徳性が	回答者のAまたはBと判断した割合が80%未満の場合には、実施方法および内容等を再検討する。	保護者3	19	計	122		91%							11	17	22	17	29	26	
			A　十分に身についていると感じる。				A	27	22%								2	6	4	4	5	6	
			B　おおむね身についていると感じる。				B	84	69%								7	10	17	11	22	17	
		【目標指数】 A＋Bの合計が80%以上	C　あまり身についていないと感じる。				C	11	9%								2	1	1	2	2	3	
			D　ほとんど身についていないと感じる。				D	0	0%								0	0	0	0	0	0	
		インクルーシブ教育や人権意識を高める指導の工夫に努める。 （取組指標）　○	自他の人権を尊重し、一人一人のよさを認め合う集団づくりに	回答者のAまたはBと判断した割合が90%未満の場合には、実施方法および内容等を再検討する。	教職員10	20	計	9		89%													9
			A　十分に取り組めた。				A	2	22%														2
			B　おおむね取り組めた。				B	6	67%														6
		【目標指数】 A＋Bの合計が90%以上	C　あまり取り組めなかった。				C	1	11%														1
			D　ほとんど取り組めなかった。				D	0	0%														0
		互いのちがいを認め合いながら仲良く活動している。 （成果指標）	友達の良いところを見つけ、仲良くすることが	回答者のAまたはBと判断した割合が80%未満の場合には、実施方法および内容等を再検討する。	児童8	21	計	121		95%	11	16	22	17	29	26							
			A　よくできた。				A	76	63%		6	14	15	14	15	12							
			B　だいたいできた。				B	39	32%		5	1	4	3	13	13							
		【目標指数】 A＋Bの合計が80%以上	C　あまりできなかった。				C	5	4%		0	1	2	0	1	1							
			D　ほとんどできなかった。				D	1	1%		0	0	1	0	0	0							

令和2年度　学校評価集計表

坂井市立兵庫小学校

項目	重点目標	評価の観点・目標指数	判断基準	判定基準	回答者	整理番号		人数	割合	A＋B	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1保	2保	3保	4保	5保	6保	教職員
C　健やかな体の育成	①健康教育の充実	健康への関心を高め、実践する指導の充実に努める。 （取組指標）　○ 【目標指数】 A＋Bの合計が90%以上	感染症予防のための手洗い・検温等の指導が	回答者のAまたはBと判断した割合が90%未満の場合には、実施方法および内容等を再検討する。	教職員11	22	計	11		100%													11
			A　十分にできた。				A	10	91%														10
			B　おおむねできた。				B	1	9%														1
			C　あまりできなかった。				C	0	0%														0
			D　ほとんどできなかった。				D	0	0%														0
		健康への関心が高まっている。 （成果指標） 【目標指数】 A＋Bの合計が90%以上	手洗いや家での検温など、病気の予防が	回答者のAまたはBと判断した割合が90%未満の場合には、実施方法および内容等を再検討する。	児童9	23	計	121		97%	11	16	22	17	29	26							
			A　よくできた。				A	87	72%		9	10	15	15	19	19							
			B　だいたいできた。				B	30	25%		2	6	5	2	8	7							
			C　あまりできなかった。				C	4	3%		0	0	2	0	2	0							
			D　ほとんどできなかった。				D	0	0%		0	0	0	0	0	0							
		健康を意識した生活習慣が身についている。 （成果指標） 【目標指数】 A＋Bの合計が90%以上	お子様は、家での検温や手洗いなど感染症予防が	回答者のAまたはBと判断した割合が90%未満の場合には、実施方法および内容等を再検討する。	保護者4	24	計	122		93%							11	17	22	17	29	26	
			A　毎日、きちんとできた。				A	56	46%								5	7	9	10	17	8	
			B　だいたいできた。				B	58	48%								6	9	12	6	10	15	
			C　あまりできなかった。				C	8	7%								0	1	1	1	2	3	
			D　ほとんどできなかった。				D	0	0%								0	0	0	0	0	0	
	②交通安全教育の充実	交通安全の指導をとおして、安全意識の向上に取り組む。 （取組指標）　○ 【目標指数】 A＋Bの合計が90%以上	集団登下校の安全指導が	回答者のAまたはBと判断した割合が90%未満の場合には、実施方法および内容等を再検討する。	教職員12	25	計	10		100%													10
			A　十分にできた。				A	4	40%														4
			B　おおむねできた。				B	6	60%														6
			C　あまりできなかった。				C	0	0%														0
			D　ほとんどできなかった。				D	0	0%														0
		安全意識が高まっている。 （成果指標） 【目標指数】 A＋Bの合計が90%以上	ルールを守って、集団登校・下校が	回答者のAまたはBと判断した割合が90%未満の場合には、実施方法および内容等を再検討する。	児童10	26	計	121		95%	11	16	22	17	29	26							
			A　いつもできている。				A	64	53%		8	14	15	7	11	9							
			B　だいたいできている。				B	51	42%		3	2	7	8	16	15							
			C　あまりできていない。				C	5	4%		0	0	0	2	2	1							
			D　ほとんどできていない。				D	1	1%		0	0	0	0	0	1							
	③防災・防犯教育の充実	避難訓練の指導をとおして、防災意識の向上に取り組む。 （取組指標） 【目標指数】 A＋Bの合計が90%以上	防災・防犯訓練で自ら判断する力の育成に	回答者のAまたはBと判断した割合が90%未満の場合には、実施方法および内容等を再検討する。	教職員13	27	計	9		100%													9
			A　十分に取り組めた。				A	4	44%														4
			B　おおむね取り組めた。				B	5	56%														5
			C　あまり取り組めなかった。				C	0	0%														0
			D　ほとんど取り組めなかった。				D	0	0%														0
		避難訓練や緊急時の対応など、安心安全な学校づくりに取り組んでいる。 （満足度指標） 【目標指数】 A＋Bの合計が80%以上	学校の交通安全指導、防災・防犯避難訓練や危機管理に対して	回答者のAまたはBと判断した割合が80%未満の場合には、実施方法および内容等を再検討する。	保護者5	28	計	122		93%							11	17	22	17	29	26	
			A　とても満足している。				A	56	46%								5	7	15	5	14	10	
			B　ある程度満足している。				B	57	47%								6	9	6	10	13	13	
			C　あまり満足していない。				C	8	7%								0	1	1	2	2	2	
			D　全く満足していない。				D	1	1%								0	0	0	0	0	1	
	④体力づくりの推進	「らんらんタイム」の充実に努める。 （取組指標） 【目標指数】 A＋Bの合計が90%以上	縦割り班による体力つくり活動では、児童の活動を	回答者のAまたはBと判断した割合が90%未満の場合には、実施方法および内容等を再検討する。	教職員14	29	計	9		89%													9
			A　年間を通して、十分に支援できた。				A	1	11%														1
			B　おおむね支援できた。				B	7	78%														7
			C　あまり支援できなかった。				C	1	11%														1
			D　ほとんど支援できなかった。				D	0	0%														0
		「らんらんタイム」に熱心に取り組んでいる。 （成果指標） 【目標指数】 A＋Bの合計が80%以上	「らんらんタイム」では、最後までがんばることが	回答者のAまたはBと判断した割合が80%未満の場合には、実施方法および内容等を再検討する。	児童11	30	計	121		95%	11	16	22	17	29	26							
			A　よくできた。				A	88	73%		11	15	18	14	18	12							
			B　だいたいできた。				B	27	22%		0	1	2	3	10	11							
			C　あまりできなかった。				C	5	4%		0	0	2	0	1	2							
			D　ほとんどできなかった。				D	1	1%		0	0	0	0	0	1							

令和2年度　学校評価集計表

坂井市立兵庫小学校

項目	重点目標	評価の観点・目標指数	判断基準	判定基準	回答者	整理番号		人数	割合	A＋B	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1保	2保	3保	4保	5保	6保	教職員
D　開かれた学校づくり	①あいさつ運動の継続	あいさつ運動の継続に努める。 （取組指標）　○	教師自らが気持ちのよいあいさつを	回答者のAまたはBと	教職員15	31	計	11		100%													11
			A　積極的にすることができた。	判断した割合が90%			A	9	82%														9
			B　おおむねすることができた。	未満の場合には、実			B	2	18%														2
		【目標指数】	C　あまりできなかった。	施方法および内容等			C	0	0%														0
		A＋Bの合計が90%以上	D　ほとんどできなかった。	を再検討する。			D	0	0%														0
		いつも進んであいさつができている。 （成果指標）	大きな声で、相手の顔を見てあいさつが	回答者のAまたはBと	児童12	32	計	121		86%	11	16	22	17	29	26							
			A　いつもできている。	判断した割合が90%			A	55	45%		8	10	13	10	8	6							
			B　だいたいできている。	未満の場合には、実			B	49	40%		2	5	7	7	16	12							
		【目標指数】	C　あまりできていない。	施方法および内容等			C	14	12%		1	1	1	0	5	6							
		A＋Bの合計が90%以上	D　ほとんどできていない。	を再検討する。			D	3	2%		0	0	1	0	0	2							
		児童は、いつも進んであいさつができている。 （成果指標）	お子様は、あいさつが	回答者のAまたはBと	保護者6	33	計	122		80%							11	17	22	17	29	26	
			A　よくできている。	判断した割合が90%			A	38	31%								2	6	6	7	10	7	
			B　だいたいできている。	未満の場合には、実			B	59	48%								5	8	10	9	14	13	
		【目標指数】	C　あまりできていない。	施方法および内容等			C	24	20%								4	3	5	1	5	6	
		A＋Bの合計が90%以上	D　ほとんどできていない。	を再検討する。			D	1	1%								0	0	1	0	0	0	
	②積極的な情報発信	積極的な情報発信に努める。 （取組指標）　○	お便りやホームページなどで情報発信が	回答者のAまたはBと	教職員16	34	計	11		100%													11
			A　積極的にできた。	判断した割合が90%			A	3	27%														3
			B　おおむね計画的にできた。	未満の場合には、実			B	8	73%														8
		【目標指数】	C　あまりできなかった。	施方法および内容等			C	0	0%														0
		A＋Bの合計が90%以上	D　全くできなかった。	を再検討する。			D	0	0%														0
		積極的な情報発信に取り組んでいる。 （満足度指標）	お便りやホームページなどで学校の様子が	回答者のAまたはBと	保護者7	35	計	122		95%							11	17	22	17	29	26	
			A　よくわかる。	判断した割合が90%			A	63	52%								6	6	12	13	12	14	
			B　だいたいわかる。	未満の場合には、実			B	53	43%								4	10	10	3	14	12	
		【目標指数】	C　あまりわからない。	施方法および内容等			C	6	5%								1	1	0	1	3	0	
		A＋Bの合計が90%以上	D　ほとんどわからない。	を再検討する。			D	0	0%								0	0	0	0	0	0	
	③保幼小・小中連携事業の充実	保幼小連携、小中連携に取り組む。 （成果指標）	保幼小連携や小中連携に	回答者のAまたはBと	教職員17	36	計	9		89%													9
			A　十分に取り組み、成果があると感じる。	判断した割合が90%			A	3	33%														3
			B　取り組み、ある程度成果があると感じる。	未満の場合には、実			B	5	56%														5
		【目標指数】	C　取組んだが、あまり成果はないと感じる。	施方法および内容等			C	0	0%														0
		A+Bの合計が90%以上	D　ほとんど取り組めなかった。	を再検討する。			D	1	11%														1
	④ネット利用に関する家庭と連携した指導実践	家庭と協力してスマートルール推進運動を実践する。 （取組指標）	スマートルールの取組について	回答者のAまたはBと	教職員18	37	計	8		100%													8
			A　定期的に指導できた。	判断した割合が90%			A	1	13%														1
			B　ほぼ定期的に指導できた。	未満の場合には、実			B	7	88%														7
		【目標指数】	C　あまり指導できなかった。	施方法および内容等			C	0	0%														0
		A+Bの合計が90%以上	D　ほとんど指導できなかった。	を再検討する。			D	0	0%														0
		スマートルール推進運動に取り組んでいる。 （成果指標）	スマートルールを	回答者のAまたはBと	児童13	38	計	121		80%	11	16	22	17	29	26							
			A　いつも守っている。	判断した割合が80%			A	45	37%		8	7	10	4	7	9							
			B　だいたい守っている。	未満の場合には、実			B	52	43%		2	6	11	10	15	8							
		【目標指数】	C　あまり守れていない。	施方法および内容等			C	14	12%		0	1	1	3	5	4							
		A＋Bの合計が80%以上	D　ほとんど守れていない。	を再検討する。			D	10	8%		1	2	0	0	2	5							
		我が子は、スマートルール推進運動に取り組んでいる。 （成果指標）	お子様は、スマートルールを	回答者のAまたはBと	保護者8	39	計	122		62%							11	17	22	17	29	26	
			A　よく守っている。	判断した割合が80%			A	23	19%								3	3	3	4	6	4	
			B　だいたい守っている。	未満の場合には、実			B	53	43%								3	7	13	8	9	13	
		【目標指数】	C　あまり守っていない。	施方法および内容等			C	41	34%								5	7	5	3	14	7	
		A+Bの合計が80%以上	D　ほとんど守っていない。	を再検討する。			D	5	4%								0	0	1	2	0	2	